



河内長野市 防災情報 ～ため池編～

この資料に関する問い合わせ先
河内長野市環境経済部農林課
Tel: 53-1111(代表)

「防災情報 ～ため池編～」について

この資料は、大雨等により、万が一ため池が決壊するおそれがある場合に備え、ご注意いただきたい情報をとりまとめたものです。

いざという時のために、日頃から災害に備えていただくとともに、災害時の情報収集や避難行動にお役立てください。

■こんな時は要注意！！



大地震のときに、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じたり、地盤の液状化により決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐えきれず決壊に到ることがあるので注意が必要です。



大雨のとき、ため池の水位が上昇し堤防を越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊することがあります。竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。

■緊急時にとるべき行動

巨大地震発生！

- 今までに経験したことが無いような地震が発生したら、まずは身の安全を確保！

高い場所に避難

- ため池の下流にお住まいの方は、ただちに浸水しない場所へ避難しましょう。



大雨・台風接近！

- お住まいの地域が、浸水想定区域に含まれているか、安全な避難場所はどこか確認しましょう。

情報収集

- ラジオやテレビ、携帯端末などを使用して、右ページ「情報の入手先について」などを参考に、公共機関からの正確な情報を収集してください。



安全な場所に避難

- 避難に時間のかかる方は早めに避難を開始しましょう。
- 避難情報に注意し、身の危険を感じたら早めに避難しましょう。
- すでに冠水している場合や、大雨で外出が危険な場合は、自宅の2階以上の高所などに避難する、「垂直避難」も有効です。

周辺状況の確認

- 収集した情報や周辺の状況を確認して、十分に安全になったことを確認するまで避難しましょう。
- ため池など周辺の状況に異常があった場合には右の緊急連絡先まですぐ連絡を！

■周辺に異常を発見したら

災害テレホン案内

防災行政無線の放送内容が聞き取れなかったときは、放送内容をこちらから確認いただけます。

Tel:0120-047-714

緊急時連絡先

市役所 53-1111
市消防署 53-0119
河内長野警察署 54-1234

■情報の入手先について

市から…

市からの避難情報は、防災行政無線以外にも以下のような手段で伝達されていますので、情報を入手するようにしてください。

市役所ホームページ

河内長野市

検索

<https://www.city.kawachinagano.lg.jp/>



市役所facebook

※事前にアカウント登録が必要です。

<https://ja-jp.facebook.com/city.kawachinagano/>

市役所LINE

※友達登録をすることで情報が得られます。

LINEの公式アカウントより「河内長野市」と検索



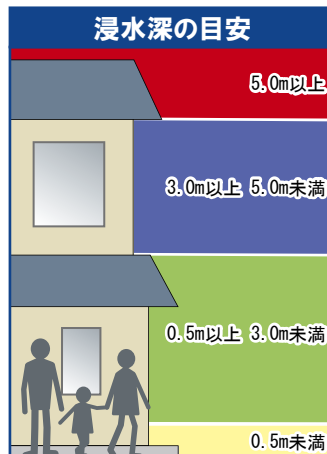
防災情報メール

※サービス利用には登録が必要です。

「touroku@osaka-bousai.net」に空メールを送信

■避難のめやす

※裏面のマップで浸水深を確認！



避難の目安

浸水しない場所へ早めの避難

- ・事前に避難場所を決めて、早めの移動
- ・避難所や高台などの浸水しない場所へ
- ・明るい時間帯や雨が強いうちに避難
- ・逃げ遅れた場合を想定して、近くに高い場所がないか日ごろから確認しておこう

自宅の2階や近くの高い建物へ避難

- ・水流が速いと倒壊の危険も。避難所や高台などへ早めの避難を
- ・降雨時や夜間の場合はむやみな移動は危険
- ・自宅の2階以上か近くの高い場所へ避難
- ・水や食料などの備蓄品も持って移動

自宅にとどまる

- ・木造平屋の場合は、安全な場所に早く移動
- ・浸水が始まったら、移動はせず自宅待機

市以外から…

市以外からも、以下のような手段により情報が伝達されます。

携帯会社(緊急速報エリアメール)

報道機関(テレビ・ラジオ・ケーブルテレビ)

大阪管区气象台からは、大阪府内の気象予報、防災情報、観測情報などが提供されています。

大阪管区气象台

検索

<https://www.jma-net.go.jp/osaka/>



ため池が持つ役割や災害時の活用

ため池は、私たちの生活にたくさんの恵みを与えています。共存することで、いつまでもその恩恵を受けられますし、適正な管理につながります。

●農業用水の水源

水の確保が難しい地域では、古くからため池を活用し、農業用水として利用しています。貴重な水源です。

●水辺空間の形成

市街化が進むと緑や水辺空間が減ってしまいますが、ため池周辺は緑もあり、水に親しむことのできる憩いの空間となります。生き物の生息場所にもなります。

●災害時の活用

洪水調節機能があり、大雨時はいったんため池に貯水されるので、水を安全に流下させることができます。このほかにも、ため池管理者と相談の上、火災時の防火用水等に活用されている事例もあります。

